

地域医療構想について

令和5年10月19日

健康福祉部医療整備課

圏域ごとに

将来人口

2025年

将来の望ましい機能別病床数の確保に向け
医療機関の役割分担や相互の連携を進めていく

将来人口予測から2025年に
必要とされる医療機能を検討

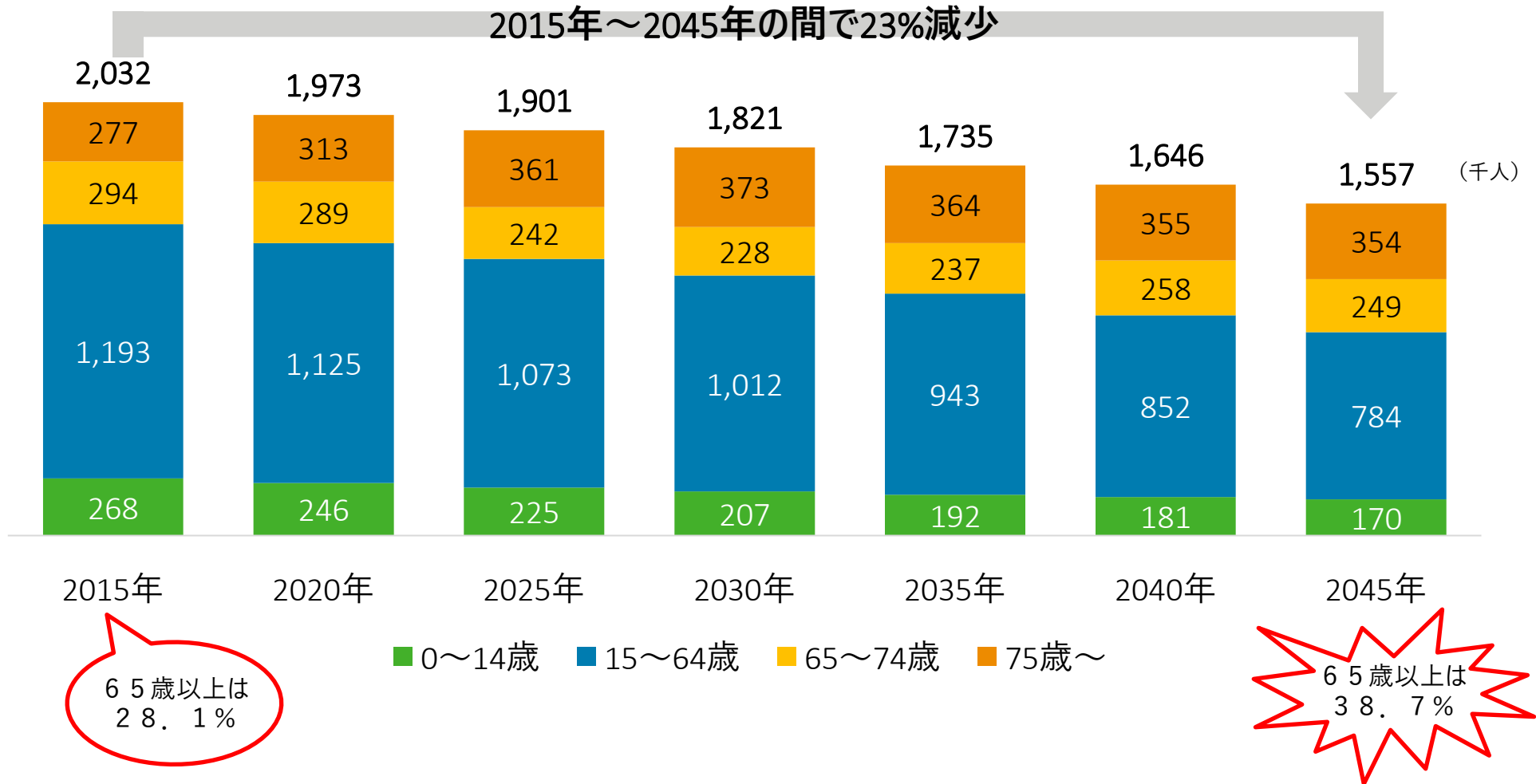
高度急性期・
急性期機能

回復期機能

慢性期機能

岐阜県の将来人口推計

岐阜県内においても人口減少が進み、2015年から2045年の30年間で、人口が23%減少することが推計されています。



出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」により作成

将来の医療を取り巻く環境の変化

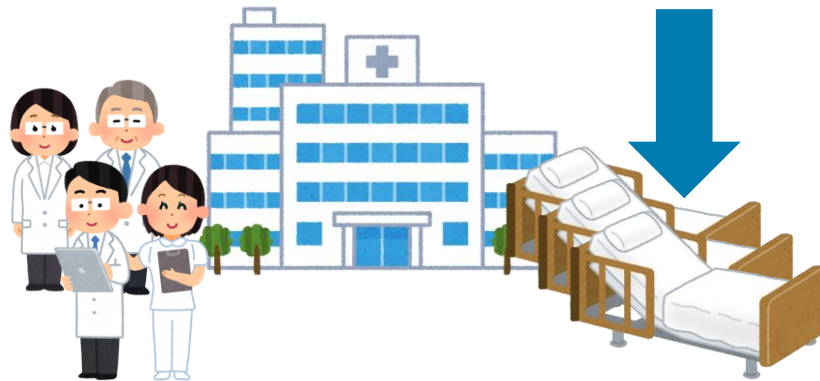
高齢者の増加による、回復期病床のニーズの高まりと、これを支える人材の確保が課題となっています



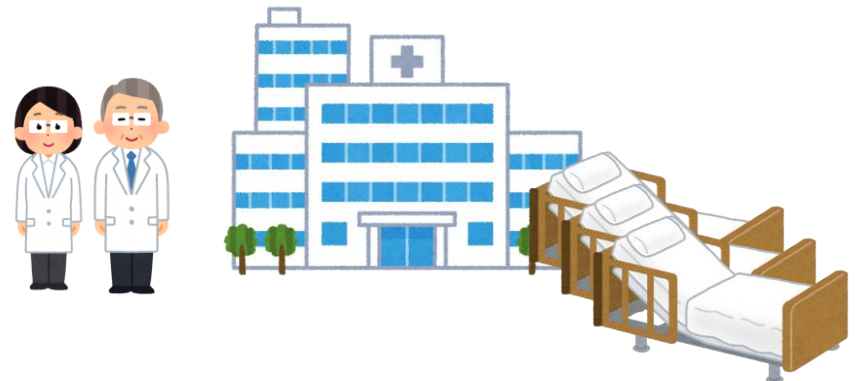
後期高齢者の数は増加



医療ニーズが高まる



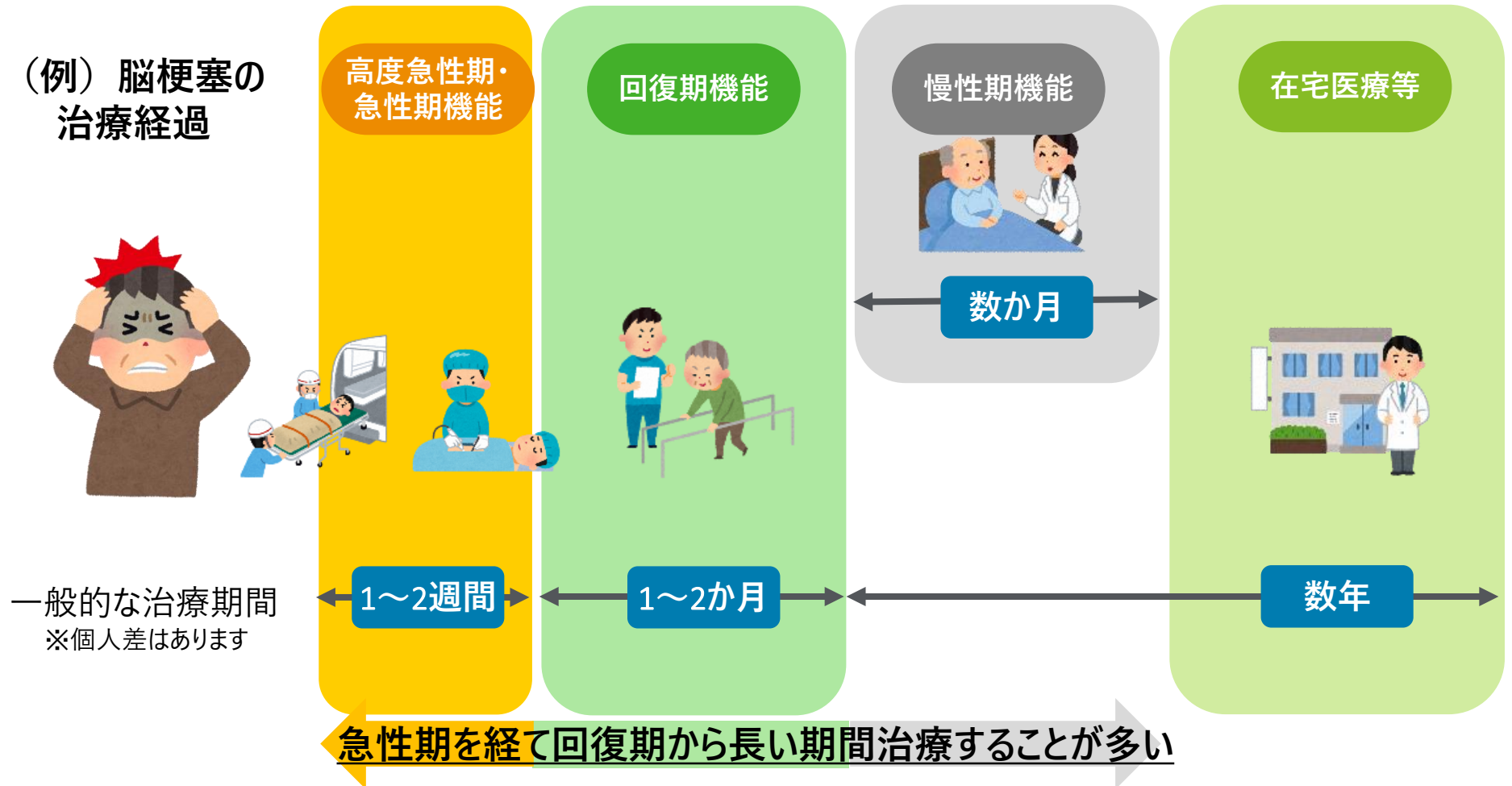
人口減少より働き手が減る



医療の担い手の確保は可能？

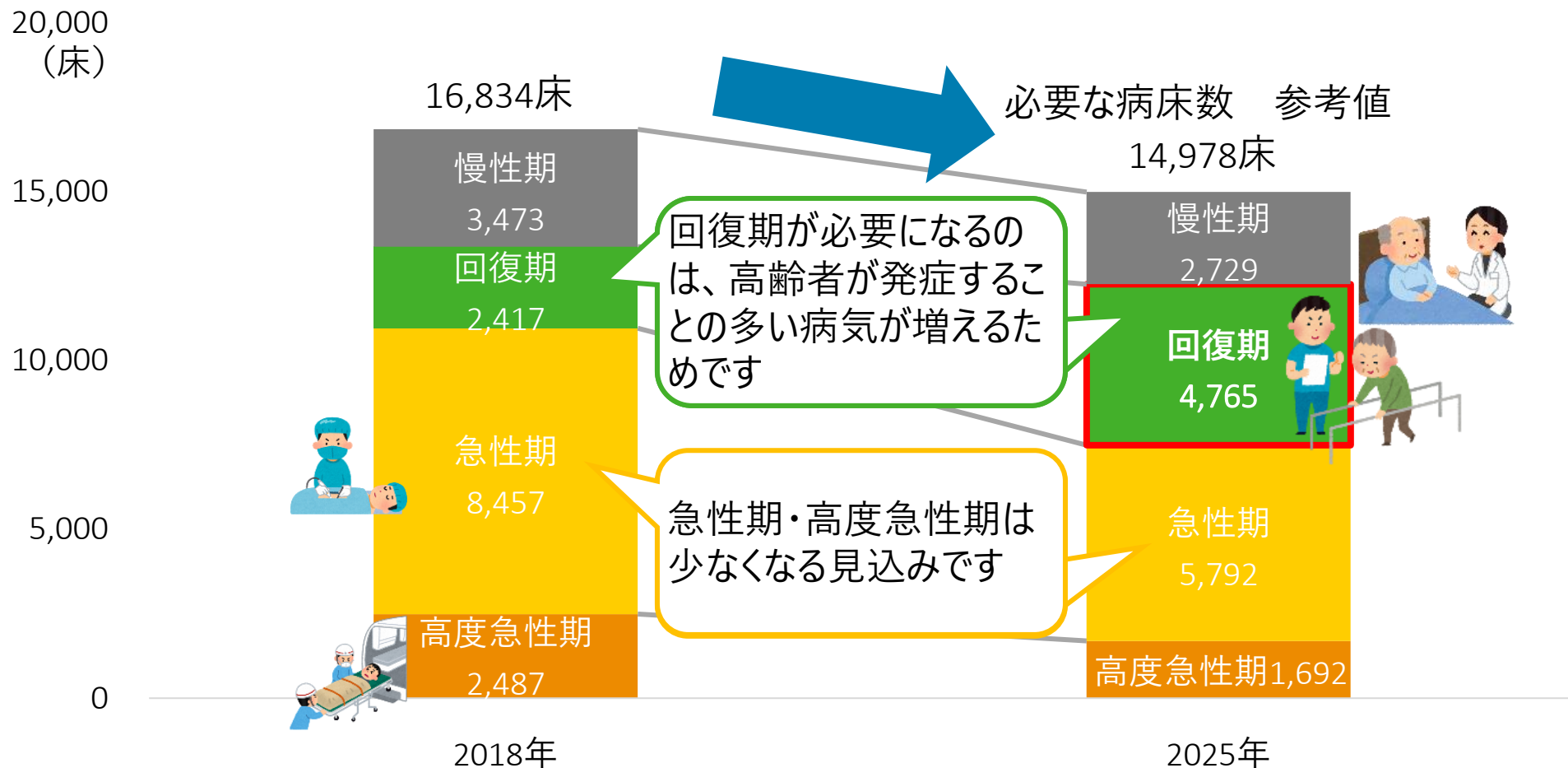
岐阜県内で必要とされる病床機能

また、高齢者は回復するまでに治療期間が長くなる傾向があります。緊急的な治療後は、日常生活への復帰のため、高齢者の特性に合った治療やリハビリを行います



岐阜県地域医療構想 2018年病床数と2025年必要病床数の差

岐阜県地域医療構想では、2025年の推計人口等の計算のもと、2025年の必要病床数を14,978床と推計しています



出所：岐阜県「岐阜県地域医療構想」、「岐阜県病床機能報告」（平成30年度）より作成

地域医療構想の実現に向けて、県は次のように取組みをしています

地域医療構想を実現し、その地域にふさわしいバランスのとれた医療・介護サービス提供体制を構築するため、地域医療介護総合確保基金を活用しながら、以下の5つの柱に基づき事業を展開します

※なお、今後、地域の特性や課題に応じた施策の実施等、必要に応じて適宜見直しを行います

将来のあるべき医療提供体制を実現するための施策5つの柱

1

病床の機能分化・連携の推進

•地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設・設備の整備等を推進し、効率的で質の高い医療提供体制を構築します。

2

在宅医療・介護体制の充実

•地域包括ケアシステムを構築し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅医療を支える人材の育成、体制の整備等を実施します。

3

医療従事者等の育成・確保

•医師等医療従事者の育成・確保や地域偏在、診療科偏在対策を行うほか、医療従事者の勤務環境改善を図ります。

4

介護施設整備、人材確保対策・資質向上

•ニーズに見合った介護サービスが提供されるよう介護施設の整備及び介護人材の育成・確保を推進します。

5

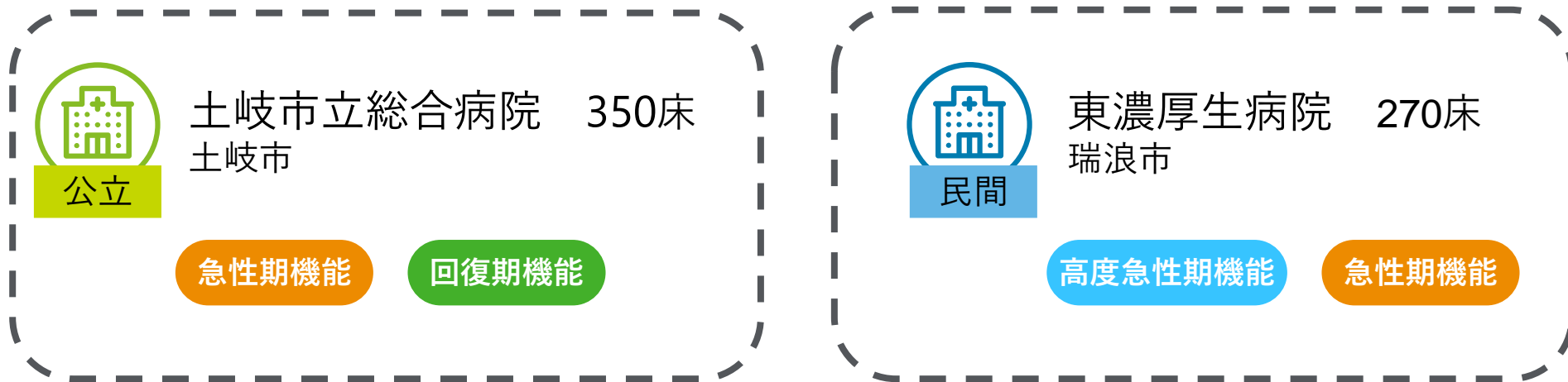
健康づくりの推進

•岐阜県健康増進計画「第3次ヘルスプランぎふ21」の推進により、食生活等の生活習慣の改善や生活習慣病の発症予防・重症化予防による健康寿命の延伸を図り、医療費の抑制につなげます。

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

一人ひとりの幸せと確かな暮らしのあるふるさと岐阜県をめざして

公立病院と民間病院を1病院へ再編統合し、機能分化した事例



令和7年度後半～（予定）

